

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡市中小企業融資事業			事業コード	0561
担当課等	所属名	商工観光部 商工課	担当係名		
	課長名	商工観光部商工課長 沼田 秀彦	担当者名	山口 哲	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	まさに活力を与える工業の振興	コード 2
	基本事業	中小企業の経営力の強化	コード 4	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 2目 金融対策事業(008-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和63年度~)		
事務事業の概要	市内中小企業の事業経営を支援するため市が融資の原資を金融機関に預託するほか、融資の際の保証料補給を行う。					
根拠法令等	盛岡市商工振興資金融資要綱 他					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
比較的融資の機会に恵まれない中小企業者や組合の組織活動の活発化と組織化の促進を図るために、市と金融機関が協調して事業資金を融資する目的で開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
国際的は金融不安、経済の収縮による中小企業の経営状況の悪化を受け、幅広い業種への支援が求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
世界的な景気悪化に対する緊急対策として、平成20年10月から、県経営安定資金(緊急対策)を利用する市内の中小企業者に対し保証料全額補給を行っていたが、平成23年3月末に終了した。平成23年4月からは、県中小企業成長応援資金の利用者に対して保証料全額補給を行うが、東日本大震災の影響により制度の見直しが出てくる可能性がある。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市内中小企業者、事業組合等	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市内中小企業者、事業組数(融資対象者)	単位	社
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <p>融資原資の預託を受けた取扱金融機関が、対象要件を満たす者に事業資金の融資を実施し、市が保証料を負担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工振興資金 利率:3年以内 2.50%以内 3年超 2.70%以内</li> <li>・組合等振興資金 利率:組合貸 2.3%以内 構成員貸 2.5%以内</li> </ul> <p>また、岩手県中小企業向け融資制度(一部)の利用者へ保証料補給を実施。</p> <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <p>融資原資の預託を受けた取扱金融機関が、対象要件を満たす者に事業資金の融資を実施し、市が保証料を負担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工振興資金 利率:3年以内 2.50%以内 3年超 2.70%以内</li> <li>・組合等振興資金 利率:組合貸 2.3%以内 構成員貸 2.5%以内</li> </ul> <p>また、岩手県中小企業向け融資制度(一部)の利用者へ保証料補給を実施。</p>	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 新規融資実行額(市で利用者に支援を行った岩手県中小企業向け融資制度の新規融資実行分を含む。)	単位	千円
				B. 新規融資申込者数(市で利用者に支援を行った岩手県中小企業向け融資制度の新規融資申込者数を含む。)	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	中小企業者に融資を行い、また融資に際して付される信用保証の保証料の一部または全部を市が補給することにより、利用者の経済的負担の軽減し、経営の安定化と強化を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 盛岡市内企業倒産件数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業)	魅力ある商品やサービスを提供できる	⇒	⑧上位成果指標	経営改善等研修会の参加者数(商工会議所、商工会など)(単位:人)		

の意図: 上位の  
基本事業にどの  
ように貢献する  
か)

(上位基本事業の  
成果指標)

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市内中小企業者、事業組合数(融資対象者)	社	14,500	15000	15000	15000	15000	15000	24年度 15000
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	新規融資実行額(市で利用者に支援を行った岩手県中小企業向け融資制度の新規融資実行分を含む。)	千円	10,402,060	10,748,009	10,000,000	9,860,279	9,800,000	9,800,000	24年度 9,800,000
活動 指標B	新規融資申込者数(市で利用者に支援を行った岩手県中小企業向け融資制度の新規融資申込者数を含む。)	件	862	1,009	1,000	1,069	1,000	1,000	24年度 1,000
活動 指標C									年度
成果 指標A	盛岡市内企業倒産件数	件	139	26	25	20	15	15	24年度 15
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	996,335	844,250	696,772	621,628	473,198	473,198	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	996,335	844,250	696,772	621,628	473,198	473,198	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	996,335	844,250	696,772	621,628	473,198	473,198	*****
	延べ業務時間数	時間	450	450	450	450	450	450	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	998,135	846,050	698,572	623,428	474,998	474,998	*****

### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 中小企業の経営上、資金調達は重要であり、市が融資原資を金融機関に預託し、利子及び保証料を補給することにより、融資を受けやすくし、中小企業の経営強化に役立っている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 中小企業の育成支援は市が行う事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 世界的な経済不況の影響を受け、多くの中小企業者が依然として厳しい経営を迫られている中、幅広い業種(不況業種)を対象として支援を行っており、現状で妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 利子や融資に際して付される信用保証の保証料の一部または全部を市が補給することにより利用者の経済的負担の軽減、経営強化を狙っており、現状で妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 融資窓口となっている金融機関と協議の上、貸付利息をさらに低利にできないか、継続して交渉していく必要がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 本制度は融資を受けにくい中小企業を対象としており、制度の廃止・休止により中小企業が融資を受けにくくなる可能性がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 岩手県県単制度融資 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 平成20年4月から盛岡市中小企業向け融資制度の一部を廃止し、市内の中小企業者が岩手県県単制度融資の一部を利用した場合に、市が保証料を負担している。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 世界的な経済不況の影響を受け、中小企業は依然として厳しい経営を迫られており、事業費削減の余地はない。経済状況が改善すれば、保証料補給率の一部縮減は可能である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 本制度の融資決定は金融機関が行い、市は金融機関や中小企業からの問い合わせや市長が証明するセーフティネットの受付を行っており、削減は困難である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 補助対象等は規則・要綱により定められていることから、受益機会は公平・公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益者に対し、経済情勢に応じた費用負担を求めており、適正である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 現下の厳しい経済情勢の中、特定の業種(不況業種)を対象とした支援策を継続していく必要があるが、その時々を経済情勢を勘案しながら企業ニーズに合った融資制度を構築していく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 企業ニーズに合った融資制度は、県の融資制度と内容が同じくとなることがあり、預託額の多い県融資が低利であるため、利用者にとって県融資に魅力を感じる。このため、保証料補給制度の内容を充実させる。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り、反省点) 厳しい経済情勢下において、中小企業の倒産防止や雇用確保に果たす役割は極めて大きい。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携             </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>中小企業の経営支援策として重要な役割を担っており、今後も引き続き経済や企業の状況に応じた対応に努める。今年度は、東日本大震災に伴う金融制度に柔軟に対応することとする。</p>														